

# 議会だより

No. 160  
2012  
May



## 目次 CONTENTS

- ◆3月定例議会で決められた概要…………… 2～7
- ◆委員会の審査…………… 8～9
- ◆議長・副議長の改選…………… 10
- ◆議会の構成…………… 11
- ◆一般質問…………… 12～17
- ◆その他…………… 18～19

# 平成24年度予算

## 一般会計113億2千万円、

## 他7会計予算を可決！

### 3月 定例議会

平成24年第1回定例議会は3月2日に招集され、3月16日までの15日間の会期で開かれました。今回の定例議会は、町長から提出された条例の制定・改正20件、町道路線の認定等3件、建設工事委託変更契約の締結1件、人事案件1件（人権擁護委員の推薦）、補正予算7件及び平成24年度予算8件（討論4件・4頁参照）の40議案並びに議員から提出された意見書2件が上程され、いずれの議案も原案のとおり決まりました。

また、教育民生常任委員会及び建設経済常任委員会に付託された陳情2件は採択に決まりました。

なお、常任委員会における閉会中の継続調査（18頁参照）では、各常任委員長から最終日の本会議において調査結果報告がありました。

### 条 例

#### 町長等の給与を減額

長びく景気低迷等の厳しい社会状況を踏まえ、行政改革への積極的な取組の一環として、昨年に引き続き町長・副町長は給与の4%、教育長は3%の減額を本年4月1日から更に1年間継続実施する壬生町長等の給与の特例に関する条例の制定を全会一致で可決しました。

#### 東日本大震災復興推進基金条例の制定

県から交付される交付金を原資として、住民生活の安定、経済・産業活力の回復等の資金として活用するための基金条例の制定を全会一致で可決しました。

#### 公有地の拡大の推進に関する法律規定に基づく条例の制定

土地所有者が土地を譲渡する場合の届出義務等において、県からの権限移譲に伴う条例制定を全会一致で可決しました。

#### 表彰条例の改正

町職員の自治功労者表彰を廃止、新たに芸術・科学・文化等の分野において優れた成績を収め、名声を高めた方を町民栄誉賞として表彰する改正を全会一致で可決しました。

#### 交通指導員設置条例の改正

公務災害又は通勤災害に対する補償事務を栃木県市町村総合事務組合で共同処理することに伴い、交通指

導員及び交通教育指導員に対する災害補償の根拠条例を改める改正を全会一致で可決しました。

#### 特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する 条例を改正

監査委員報酬の増額、社会教育委員長兼公民館運営審議会委員長及び社会教育委員兼公民館運営審議会委員の年額報酬を日額報酬とする見直し、スポーツ基本法の施行に伴い、スポーツ振興審議会委員がスポーツ推進審議会委員に、体育指導員がスポーツ推進委員に名称変更、安全・安心な地域社会の実現に寄与するための安全安心指導員の設置による報酬を追加する改正を全会一致で可決しました。

## 都市計画税の減額改正

都市計画事業の実施状況や町の均衡ある発展を勘案し、市街化区域の税負担の軽減を図るため、平成24年度から税率100分の0.27を100分の0.13とする改正を全会一致で可決しました。

## 公民館条例、図書館協議会設置条例を改正

社会教育法及び図書館法の改正により、公民館運営審議会及び図書館協議会の委員の委嘱・任命の基準を条例で定める改正を全会一致で可決しました。

## 嘉陽ヶ丘ふれあい広場設置、管理及び使用条例を改正

使用料金において、町内居住者及び町内居住者以外の者の区分を町内居住者の使用料金に統一する改正を全会一致で可決しました。

## スポーツ振興審議会に関する条例、運動場設置、管理及び使用条例、学校体育施設開放に関する条例を改正

スポーツ基本法の施行により、規定条文中の旧法からの引用箇所及び関連事項の改正を全会一致で可決しました。

## 災害弔慰金の支給等に関する条例を改正

弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、兄弟姉妹の規定を追加する改正を全会一致で可決しました。

## 敬老金等給付条例を改正

77歳、80歳、88歳、90歳、95歳以上及び満100歳到達時に支給をしている敬老金を77歳、88歳の節目に現行と同額、満100歳到達時の特別敬老金を30万円、施設入所者は10万円とする改正を賛成多数で可決しました。

## 介護保険条例を改正

保険料賦課を第5段階から第7段階の基準所得金額を見直し、所得金額400万円以上を対象に第8段階を設け、現在の第4段階に該当する低所得者に保険料の軽減措置を設ける改正を賛成多数で可決しました。

## 土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例を改正

民法等の改正により、未成年後見人に法人を選任することができることになったため、法定代理人に係る規定の整備をする改正を全会一致で可決しました。

## 農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例を改正

農業集落排水処理施設使用料の算定において、月単位の計算方法を月の中途における変更があった場合に、日割り計算による料金制度を定める改正を全会一致で可決しました。

## 道路占用条例を改正

国における道路法施行令改正による占用料の改正に併せて、町における道路占用料の額等の見直しをする改正を全会一致で可決しました。

## 町営住宅条例を改正

公営住宅法の改正により、高齢者等について具体的規定の整備、収入基準額に関連する改正を全会一致で可決しました。

## 契約

## 公共下水道北部処理場建設工事委託契約の変更契約

北部処理場建設工事委託契約（4億9千100万円）において、防食塗装取り止めによる減額及び残土処分運搬費・処分費の減額による変更契約（3億9千700万円）の締結を全会一致で可決しました。

## その他

### 町道路線の認定、変更及び廃止

開発行為に伴う寄付採納による4路線、町道整備に伴う2路線の認定を可決しました。

また、終点変更による3路線の延長変更及び県道と重用となる1路線の廃止を全会一致で可決しました。

## 人事案件

### 人権擁護委員に糸川氏を再任

平成24年6月30日に任期満了となる糸川武正氏（壬生町上田）の再任に同意しました。



糸川 武正氏

# 予算決議討論

## 【一般会計】

### 反対討論

小貫 暁 議員

職員の臨時職員への置き換えが増加し、官製ワーキングプアとして公共的労働を担う職員の待遇改善がされず、国際的労働協約の同一労働同一賃金の原則に著しく反している。敬老祝金1,600万円縮減は承認できない。新規事業の赤ちゃん祝金事業は、給付すべき根拠条例がないので、政策の安定性を担保するためにも条例制定を求める。給食食材検査実施では、1回の食材中1品だけの検査から、宇都宮市で方針転換とする食材全部の検査に切換えられることを求め反対です。

### 賛成討論

赤羽根信行 議員



地域公共交通の導入や消費生活センターの設置、新たなワクチン接種助成、放置自転車対策、小中学校給

食の一部助成継続など、効率的にバランス良く予算配分がされており、町債発行額と公債費の関係においても釣り合った予算編成であるので、引き続き財政の健全性を維持しつつ本町の持続的な発展を願い、賛成です。

## 【国民健康保険会計】

### 反対討論

小貫 暁 議員

いつでも何処でも安心して医療を受けることを保障している制度です。この25年の間に国の負担割合は半減し、加入世帯の貧困化が進行、雇用破壊による非正規、失業者の国保加入が増大しています。加入者の平均年収は年々減少しているのに保険料は上昇、滞納者が増え、滞納世帯に対する保険証取り上げ、短期保険証交付を増加させています。払いたくとも払えないのが実態ではないでしょうか。皆保険制度の再生が政治のはたすべき責任であることを強調して反対です。

### 賛成討論

玉田 秀夫 議員



主要財源の保険料では、低所得者に配慮した軽減を導入しています。不足する財源を一般会

計から補てんするなど、厳しい予算編成であることがうかがえるが、健康に対する意識の高揚、健康保持、中長期的な医療費の抑制のための予算措置がなされており賛成です。

## 【介護保険事業会計】

### 反対討論

小貫 暁 議員

高齢者が高齢の配偶者を介護するいわゆる老々介護が常態化しています。払える負担の範囲で受けるサービス内容を選択せざるを得ない。さらに、保険料金改定に伴い大幅引き上げが反映されている。高齢社会を誰もが安心できる介護制度に改革されることを求め反対です。

### 賛成討論

田村 正敏 議員



高齢者の自立支援の実現及び認知症高齢者の特性に対応したケア

の推進が図られ、地域支援事業、介護予防事業、高齢者世帯の支援策などの適正な予算措置がなされているので賛成です。

## 【後期高齢者医療会計】

### 反対討論

小貫 暁 議員



存続すればするほど高齢者に重い負担を強いる本制度は廃止するしかありません。我慢と犠牲を強いる医療制度の存続はこれ以上許されません。高齢者の負担増がされる現況は看過できないので反対です。

### 賛成討論

坂田 昇一 議員



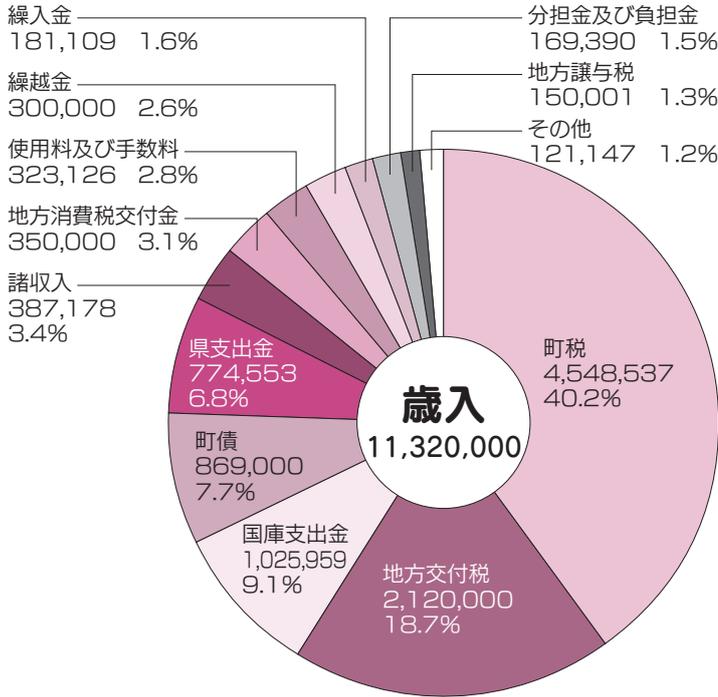
新たな高齢者医療制度に移行が予定されていますが、保険料は、

低所得者に配慮した軽減措置を講じており、広域連合への納付金など医療制度の円滑な運営のための予算措置がなされているので賛成です。

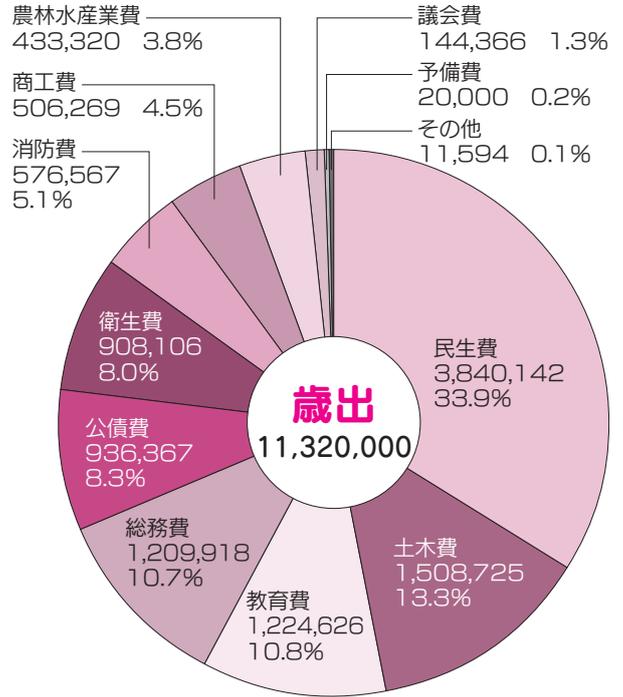
# 平成24年度予算

## 【一般会計】

### 歳入 (単位:千円)



### 歳出 (単位:千円)



#### その他内訳

ゴルフ場利用税交付金	32,000	財産収入	18,144	配当割交付金	3,000	その他内訳	
自動車取得税交付金	30,000	利子割交付金	10,000	株式等譲渡所得割交付金	2,000	災害復旧費	11,502
地方特例交付金	20,000	交通安全対策特別交付金	6,000	寄附金	3	労働費	89
					諸支出金	3	

## 【特別会計】

会計名	予算額	対前年比
国民健康保険	45億 948万0千円	0.4%減
公共下水道事業	16億9,720万8千円	40.7%増
奨学資金	160万0千円	5.9%減
介護保険事業	24億1,972万8千円	10.4%増
農業集落排水事業	7億6,347万7千円	78.8%増
後期高齢者医療	3億1,812万3千円	15.2%増

## 【企業会計】

事業	種別	予定額	対前年比
水道事業	収入	5億5,728万4千円	3.8%減
	支出	4億5,083万0千円	1.6%増
資本的	収入	2億6,195万0千円	16.2%減
	支出	5億6,124万4千円	5.0%減

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、減債積立金取り崩し額、建設改良積立金取り崩し額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんします。

## 平成23年度 補正予算 (平成24年3月定例会可決)

(単位:千円)

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計	380,357	13,117,909	国の補正予算を活用した前倒し事業実施、歳入歳出予算全般の執行を精査、繰越明許費の設定によるもの。
国民健康保険	△ 25,048	4,719,112	療養給付費等負担金・交付金、拠出金の決定等など全般についての見直しによるもの。
公共下水道事業	△ 13,691	1,168,634	事業等の進捗状況の精査によるもの。
介護保険事業	△ 12,207	2,179,559	介護給付費等の過不足によるもの。
農業集落排水事業	333	429,028	消費税確定による公課費や職員給与費の過不足によるもの。
後期高齢者医療	△ 4,876	282,188	保険基盤安定繰入金額の確定や職員給与費の過不足によるもの。

水道事業	収益的	収入	△ 4,650	574,517	水道料金収入の減少、負担金収入の減少によるもの。
		支出	7,192	450,804	各項目の所要額の精査によるもの。
	資本的	収入	△ 48,000	265,222	みぶ羽生田産業団地の年度分受託工事減によるもの。
		支出	△ 29,000	567,345	〃

# 意見書の提出

3月定例議会において、議員提出の意見書を2件可決し、関係機関へ提出した。

## 原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める意見書

提出者 壬生町議会議員 大島 菊夫  
賛成者 壬生町議会議員 坂田 昇一

〃 〃 高山 文雄  
〃 〃 市川 義夫  
〃 〃 中川 芳夫

2011年3月に起きた東京電力福島第一原子力発電所(以下「福島第一原発」といいます)事故は、国及び電力会社が唱えてきた原子力安全神話を根底から覆しました。

この事故により、国民は、原子力発電所(以下「原発」といいます)の危険性とひとたび事故が発生した場合の甚大な影響に直面しました。

高濃度の放射性物質に汚染された地域では、長期にわたり人が住むことも立ち入ることもできなくなり、住民の平穏な生活は破壊され、地域の文化も共同体も消失させられました。放射性物質による汚染は、福島県のみならず、栃木県を含む近隣都県にまで及び、住民を外部被曝、内部被曝の危険にさらしています。とりわけ放射線に感受性の強い子どもたちの健康への影響が憂慮されます。さらに放射性物質による汚染は、農林漁業や

観光業をはじめとする他の企業活動にも、風評被害をも含む深刻な影響をもたらしています。

また、福島第一原発事故の収束工程や除染の問題は、改めて私たちに、原発は将来世代に、使用済み核燃料その他の放射性廃棄物の処理という、高いツケを回しているということを気付かせました。この地震国において、とりわけ震源域にかけて多数の原発の立地を許してきたことを、私たちは猛省しなくてはなりません。

将来に禍根を残さないためには、原子力発電の推進を前提とするエネルギー政策の見直しが必要です。

以上のことを踏まえ、壬生町議会は、国に対し、エネルギー政策については、左記のことを基本とすることを明確にしたものに改めるよう要望します。

### 記

- 1 再生可能エネルギー及び節電その他の省エネルギーの推進をエネルギー政策の核に据えること
- 2 原子力発電の比率を縮小し、完全廃止を最終目標とすること
- 3 エネルギー政策については国民の積極的な参画を求めること

## 公的年金2.5%引き下げに反対する意見書

提出者 壬生町議会議員 榎井 聰  
賛成者 壬生町議会議員 玉田 秀夫

〃 〃 河野辺 恒雄  
〃 〃 小貫 暁  
〃 〃 田村 正敏

厚生労働省は、「特例水準」を解消するとして、3年間で2.5%の年金引き下げを行おうとしています。

当時、政府は高齢者の生活実態と、経済への悪影響を考慮して、年金額を据え置いたものであり、適切な措置であったと思います。

然るに、今回、高齢者を取り巻く情勢は当時と比較しても、ますます厳しさを増しているにもかかわらず、「特例水準解消2.5%削減」を強行することは、高齢者の生活を守る立場からも、地域経済を活性化する立場からも、認めることは出来ません。

以上の趣旨にかんがみ、次の事項の実現を強く求めます。

### 記

- 1 公的年金の2.5%削減を行わないこと。

# 賛否の公表

# 平成24年第1回壬生町議会定例会 重要案件の採決結果

※細井敬一議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	赤羽根信行	河野辺恒雄	小牧敦子	坂田昇一	玉田秀夫	田村正敏	中川芳夫	市川義夫	鈴木理夫	榆井聰	大島菊夫	落合誠記	佐藤善光	高山文雄	小貫暁	細井敬一	賛成	反対
15号	壬生町敬老金等給付条例の一部改正について	3月2日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	—	12	3
16号	壬生町介護保険条例の一部改正について	3月2日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	—	12	3
33号	平成24年度壬生町一般会計予算決議について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	14	1
34号	平成24年度壬生町国民健康保険特別会計予算決議について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	—	14	1
37号	平成24年度壬生町介護保険事業特別会計予算決議について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	13	2
39号	平成24年度壬生町後期高齢者医療特別会計予算決議について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	—	13	2

多：賛成多数（可決） ○：賛成 ×：反対

## 陳情の審査結果（3月定例議会で、審査の終了した陳情は次のとおりです。）

### ○採択になったもの

**陳情第1号** 原発から再生可能エネルギーの推進へエネルギー政策の転換を求める陳情

提出者・・・宇都宮市一条4丁目5番11号  
 原発いらぬ栃木の会 代表 米田軍平・島田晴夫

**陳情第2号** 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情

提出者・・・宇都宮市宝木町2丁目988  
 全日本年金者組合栃木県本部 執行委員長 桧山 正

平成24年第2回臨時議会は3月28日に開かれました。

臨時議会では、町長から提出された補正予算1件の議案が上程され、原案のとおり決まりました。今回の補正予算は、介護保険給付費等の精算に伴う償還金に不足が生じることから編成されたものです。

**3月  
臨時議会**

## 【特別会計】平成23年度 補正予算（平成24年3月臨時会可決）

（単位：千円）

会計名等	補正額	補正後の予算	補正の主な内容
介護保険事業	1,452	2,181,011	介護給付費等の精算に伴う償還金不足によるもの。

# 委員会審査

常任委員会は3月5日から15日まで、予算全般にわたり活発に審査を行い、本会議に常任委員長が報告を致しました。  
 なお、各委員会での審査内容は、次のとおりです。



大島建設経済常任委員長



楡井教育民生常任委員長



佐藤総務常任委員長

## 総務常任委員会

委員長	佐藤 善光
副委員長	赤羽根 信行
委員	細井 敬一
”	落合 誠記
”	鈴木 理夫
”	小牧 敦子

**被災地支援ボランティアを町の行事として弾力的に判断して、町有バスを使用できないか**

バス利用は、町有バス使用及び管理規程で定められています。町主催、各行政委員会等主催の公的な行事での利用は認めますが、一般の利用は認めません。民間から何件かの問合せがありました。東運輸局に確認したところ、町有バスは白ナンバーなので、青ナンバーでないとは法律に適合しないとのこと、お断りをしています。

**基金運用収入において、昨年度と比較して庁舎建設基金は減額となり、まちづくり推進基金は増額となっているが何故そうなるのか**

基金の預入金額は51億円強となりますが、それぞれの預入金金融機関の利回りの相違が要因です。

**デマンド交通は具体的にどのような事業予算になるのか**

主にオペレーター賃金、運行委託費用、予約システム導入費用、コンサルタントへの事後アンケート調査の解析や改善見直しプラン等業務委託が主なものです。

**都市計画税は24年度半減、25年度全廃になるが、その穴埋めの税収分をどう確保して行くのか**

事務レベルでは、集中的に行政改革を含めてやって行かなくてはと考えています。まち

づくりの観点から人が来やすい体制づくりを行い、優良企業の誘致等色々な意味で改革をして行かなくてはならないと考えています。

採決の結果、当常任委員会に付託された一般会計予算決議(所管事項)、国民健康保険特別会計予算決議(所管事項)、介護保険事業特別会計予算決議(所管事項)、後期高齢者医療特別会計予算決議(所管事項)について全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。



## 教育 民生 常任委員会

委員長 榆井 聡  
副委員長 玉田 秀夫  
委員 小貫 暁  
” 河野辺恒雄  
” 田村 正敏

### 行政協力委員80名の報酬について

委員報酬については非常勤特別職に当たり、年額30,000円に、取扱い世帯数×一戸400円を加算した金額を一人当たり支払っています。

### 老人保健福祉施設整備について

24年度は、49床増設が予定されております。星風会で29床、しもつけ荘で20床増設され、両施設とも地域密着型施設であるため、本町民のみが入所できる施設です。

### 悠久の丘斎場負担金の内訳について

施設負担金と運営負担金2本立てになっており、施設負担金は建設にかかったコストを壬生町と宇都宮市で按分し本町の負担は、6.24%です。

運営負担金は、年間の火葬件数によって負担割合が決まり、24年度本町は、390人、7.15%を見込んでおり金額は、16,971,240円です。

### ゆうがおマラソン大会開催について

24年度より従来のロードレース大会から内容を変え実行委員会を設置し、開催運営に当たります。補助予算額は800万円を計上しており、ゲストランナー費245万円、メイン会場設営費270万円、

記念品代260万円が主なものです。

採決の結果、当常任

委員会に付託されました一般会計予算決議（所管事項）、国民健康保険特別会計予算決議（所管事項）、後期高齢者医療特別会計予算決議（所管事項）、介護保険事業特別会計予算決議（所管事項）については、賛成多数で可決いたしました。

奨学資金特別会計予算決議については、全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。



## 建設 経済 常任委員会

委員長 大島 菊夫  
副委員長 坂田 昇一  
委員 高山 文雄  
” 市川 義夫  
” 中川 芳夫

### かんばんよう伝来300年記念事業では

8月4日5市町及び関係団体で中央公民館にて記念式典を開催しシンポジウム、パネル展示などイベントが行なわれます。また、町単独では8月11日12日ハイウェーパークで開催予定です。栽培発祥地として栽培農家をどう支援して行くか、消費拡大を目的としたイベントが行われます。

### インター北通り町道No.2-565号線については

用地買収済みであり、年度内には完了する予定であるが、インター

チェンジ交差点における警察との信号機等の協議があるため年度内開通には厳しい状況であります。

### みぶハイウェーパークの施設使用料の改定については

売り上げの10%を使用料とするが、最初の2年間は5%、その後2年間は7.5%とし5年目から10%とし収納していく計画です。

### 壬生の水ペットボトル製造計画については

地下水を使用した、本町の旨い水PRと町水道水使用の普及促進のため「壬生の水として」平成24年度5,000本程度の製造委託を考えています。



採決の結果、当常任委員会に付託されました一般会計予算決議（所管事項）、公共下水道事業特別会計予算決議、農業集落排水事業特別会計予算決議及び水道事業会計予算決議について、全委員異議なく原案のとおり可決いたしました。

# 議長・副議長の改選

3月16日、議長及び副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長選挙の結果は、大島菊夫氏9票、落合誠記氏4票、高山文雄氏2票、小貫 暁氏1票となり、大島菊夫氏(64歳、当選3回)が当選しました。副議長選挙の結果は、榆井 聡氏9票、河野辺恒雄氏4票、小牧敦子氏2票、小貫 暁氏1票となり、榆井 聡氏(54歳、当選2回)が当選しました。

また、常任委員会等の構成(平成24年4月23日から)も替わり新しい体制となりました。

## より開かれた議会を目指して

議長 大島 菊夫  
おおしま きくお



町民の皆様には、日頃より町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、平成24年第1回定例会におきまして、議員各位のご推挙により、伝統ある壬生町議会議長を務めさせていただくことになりました。身に余る光栄に存じますと共に、責任の重さを痛感する次第でございます。もとより微力ではございますが、議長として

全力を傾け、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいる所存でございます。

地方分権の進展に伴い、地方自治体の権限や機能が拡大する中で、議会の果たす役割への期待はより高く求められてまいります。町民の代表機関として皆様の建設的なご意見を町政に反映すべく、皆様と共に考え共に歩み、より豊かな住み良い町づくりを目指し、議員一丸となって町民の負託に応えられるよう全力を尽くしてまいります。今後とも、町民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

## 議会機構の改革、推進に努める

副議長 榆井 聡  
にれい さとし



平成24年第1回壬生町議会定例会において、議員各位のご推挙により、歴史と伝統ある壬生町議会第48代副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であると共に、責任の重大さを痛感しているところであります。

また、町の財政状況は、依然として厳しい状況にあります。更なる行財政改革を推進し、今後更に進む高齢化社会、少子化対策に向けて柔軟かつ的確に、対応して

いつて頂きたいと思っております。私も副議長という立場で、議長を補佐しながら自ら研鑽を深め、議会の機構改革・議会活動の情報開示・懸案事項のスピード対応・チェック機能のより一層の充実を図り、その使命達成に努めてまいりながら、町執行部と共に未来に向けてのまちづくりを推進してまいります。

今後とも、本町発展、議会発展のために全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様引き続きのご指導、ご鞭撻、ご支援を心よりお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

# 議会の構成

◎委員長  
○副委員長

## 総務常任委員会

◎坂田昇 一  
○高山文 雄  
小貫 暁  
鈴木理 夫  
榆井 聰  
中川 芳 夫

## 教育民生常任委員会

◎赤羽根 信 行  
○落合誠 記  
佐藤善 光  
大島菊 夫  
市川義 夫

## 建設経済常任委員会

◎玉田秀 夫  
○細井敬 一  
河野辺 恒 雄  
小牧敦 子  
田村正 敏

## 議会運営委員会

◎市川義 夫  
○小貫 暁  
細井敬 一  
鈴木理 夫  
落合誠 記  
小牧敦 子

## 会派一覧

### ◆せいゆうかい清友会 (9名)

◎会長 ○副会長

◎市川義夫 細井敬一 玉田秀夫  
○鈴木理夫 大島菊夫 坂田昇一  
○榆井 聰 田村正敏 赤羽根 信 行

## 議会だよりホームページへ掲載

壬生町ホームページ › 議会の紹介 › 議会だよりにてご覧になれます。



## 壬生町議会会議録の閲覧・検索が一発OK!!

閲覧・検索は、壬生町の公式ホームページまたは下のアドレスからアクセスしてください。

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/mibu/mibu.html>

## 一般質問

# 大

### 災害を想定した避難マニュアルの整備を

#### 教育長 見直し、改善を行います



田村正敏 議員

**問** 中学校の武道必修化への対応は。

**教育長** 日本の伝統と文化に触れるよう丁寧かつ安全に指導してまいります。

**町のブランディングを強化せよ**

**問** 「みぶブランド推進協議会」の進捗は。

**町長** 新年度から、地域ブランド創出の先行事例も研究しながら、認定基準やPR方法などブランド推進の基礎を固め、事業に取り組んでまいります。

**問** 「かんびよう伝来3000年記念大会」の内容は。特産物の六次産業化は。

**町長** 感謝状の贈呈や、かんびようの歴史のパネル展示、記念講演、シンポジ

ウムの開催を、またかんびようを使ったゲーム等、その他、料理コンテスト、小学生を対象とする絵画の募集を予定しています。農・商・工の連携をより図れるような方向で実施していきたいと思います。

**問** スマートICを含めたハイウェーパークの今後の戦略は。フィルムコミッション事業の進捗は。

**建設部長** わんぱく公園やみぶ総合公園を含めた道の駅としての魅力はその機能を発揮し切れていません。平成24年度予算案

の中で再整備検討の調査業務委託を計上し、その中でブランド戦略との連携を図り、スマートICも含めて、総合的に検討していきます。

**商工観光課長** 県のフィルムコミッションには登録していませんが今後、各方面の町内でのグループ、団体とも話し合いさせていただきながら検討をしてまいります。

**児童・生徒の安全を守れ**

**問** 震災後の避難マニュアル等の見直しはどうか。メールによる連絡網整備はどうか。

**教育長** 電話等の通信手段が遮断された場合を想定し、児童・生徒の保護者への引き渡し方、教育委員会への連絡方法等が示されており、緊急時に機能するように、各学校においては今後も避難訓練等を実施いたします。

**問** 登下校中の安全管理は、自転車通学を含めどうなっているか。

**教育長** 集団での登下校は不審者対策として、交通指導員、スクールガード、子供110番の家などの方々に協力また連携をとっています。自転車通学対策は、交通安全指導や模擬交差点体験などの交通安全教室を実施しております。



とちぎ元気グルメ選手権6位入賞「みぶのカミナリ汁」

## 一般質問

# 豊

### かな自然と生活環境を守っていくこととは

#### 町長 町民の環境意識の高揚を図ります



赤羽根 信行 議員

#### 住みよい町を目指した協働の町づくり

**問** ゴミの不法投棄問題を行政当局として今後どのような取り組みをしていくのか。

**町長** 廃棄物の不法投棄を防止するため、廃棄物土砂等埋め立て監視員を任命し、廃棄物処理施設や不法投棄の多い地区、土砂等の埋め立て現場などの監視活動を強化しております。今後、監視員のパトロールに

よる効果を検証しながら、不法投棄の防止対策を強化してまいりたいと考えております。

**問** 道路、公共施設内におけるペット等の糞の処理や放し飼い防止などのマナー向上に向けて町当局として、指導、啓発、条例制定など具体的な取り組みは。

**町長** 町広報紙等により、犬の放し飼い禁止や、ふんを持ち帰りなどの普及・啓発に努めており、また条例

制定に向けて平成24年度に検討してまいりたいと思っております。

**問** 古くなった空き家に対して危険性、防火上の問題を解決するための対策、取り組みは。

**町長** 倒壊の危険性のあるものや防火上の問題があるものについては、所有者に対して適切な管理のお願いを続けていく所存でございます。

#### 清掃事業の向上と円滑な推進

**問** 今後の清掃センター事業を広域、単独、民間、どの方向に持っていくのか。

**町長** 焼却施設が老朽化により使用ができなくなることも予想されることから、広域処理への加入も含め、

延命化工事、建て替え、民間委託のいずれが財政負担も含めて、町民にとって最良なのかを今後検討してまいりたいと思っております。

**問** 生活環境の向上に向けて生活ゴミの分別、有料化への検討はしているのか。

**町長** 処理費用と住民負担について、さらに精査する必要があると思われまので、現時点での導入は考えておりません。



清掃事業の拠点、清掃センター

## 一般質問

# 高

## 高齢者の健康を守れ

### 民生部長 健康維持や介護予防の事業を開催しています



佐藤 善光 議員

**問** 高齢者の健康管理講座等の開催状況は。

**民生部長** 公民館等での健康講話等出前講座や、ふれあい・いきいきサロン及びときめき未来倶楽部を実施しております。

**問** 高齢者スポーツの取り組み状況は。

**民生部長** 31団体、年間延べ3万3,756人が、町の施設で定期的に活動しております。

### 安全安心のまちづくりを

**問** 町道管理責任の車両物損事故の発生状況と対策は。

**建設部長** 過去10年間の事故発生件数は、穴ぼこへの落下等24件です。対策として、道路パトロール等により、

損傷箇所の早期発見と早期補修に取り組んでおります。

**問** 行政協力員の協力は必要ないか。

**建設部長** 今後必要であれば検討いたします。

### 空き地のまま遊ばしておくのはもったいない

**問** ひばりヶ丘町営住宅跡地の面積と空き地の活用計画は。

**建設部長** 総面積は約1万9,300平方メートルです。跡地利用については、今後の公共施設の整備状況と住宅需要も見通しながら、町民利益の最大化が図れるよう検討します。



ひばりヶ丘町営住宅跡地

**問** 六美町第2期雨水排水工事と道路工事の資材置場に利用してはどうか。

**建設部長** 有効な手段ですが、居住環境を保全することから、1種住居地域であることから、今後工事が入る段階で検討します。

### 高齢者の健康をどう守るか

**問** 壬生町の医療費の増加予想と対策は。

**民生部長** 高齢者1人当たり、平成21年度決算に比較して24年度は5.9%増加の見込みであり、医療費抑制のため、予防接種事業、健康診査事業、介護予防教室等を開催し、健康保持を進めます。

**問** 在宅介護支援の体制はできているか。

**民生部長** 介護事業者数は34事業所で、さらに2カ所の開所により、介護需要の増加には対応できると考えております。

**問** シルバー人材センターの加入者数と活動の状況は。

**民生部長** 会員数は236名で、就業率は89%です。

## 一般質問

# 新

### 設されるこども未来課の業務内容は

### 民生部長 子供に関することはすべてに対応していきたい



小牧 敦子 議員

であります。問題発生時は情報共有し各課連携し迅速に対応したいと思えます。

**壬生町の幼児教育は活かされているか**

**問** 幼児教育の担当は。

**民生部長** 壬生町「壬力UPすまいるプラン」における幼児教育の充実を掲げ、現在は教育委員会学校教育課学校教育係が担当しています。

**問** 「小1プロブレム」に有効な幼保小連携の一つである子ども交流活动を全ての6才児が参加できるように。

**教育長** 園児が上級生となる小1、2年生との交流活動は増加傾向にはありますが、当町としては移動距離が遠いなどのために安全を

考慮する交通手段をクリアすることが問題であると考えます。

**問** 町立保育園の今後の在り方について日程は。

**民生部長** 公立、民間保育園を含めた検討委員会で広く町民の意見を聞きながら、2015年から3年間かけて国の幼保一本化の案（現保育園を総合こども園に移行する）を情報開示、説明しながら進めて行きたいと考えています。

**不適正な園芸用土採取事業者による町道破損を防ぐ**

**問** 不適正な事業者に対応する条例の必要性は。

**経済部長** 農地法等の関係法令の規制の中で現在行われており、それら法規制を超える条例での規制は難しいと考えています。また、埋め戻しについては既に町、県の条例が制定され、それによる規制が行われていません。

**問** 不当要求への対応として警察官の出向は。

**経済部長** 園芸用土採取業者とのトラブル対策として専任の警察官、そのOBなどの採用は現時点では考えておりません。

**問** 住民の相談に対し担当課の横断的連携は。

**経済部長** 担当は建設課、保険環境課、農務課、農業委員会事務局と多様であり一括対応窓口の設置は困難



積極的・スピーディーな事業展開を望む。こども未来課

## 一般質問

# 再

## 生可能エネルギーの普及推進を

町長 重要な課題として推進します



小 貫 暁 議員

ナス分は何かカバーできるのではないでしょうか。また老後を安心して迎えるために、施策の中心として、新公共交通システムが新年度から実証運行開始の見込みとなっています。

**問** 原発事故から1年、脱原発は世界の流れ、再生エネルギー普及に町は積極的に対応すべきだ。

**町長** 地球温暖化防止対策や今般の電力不足への対応等で重要な課題だと思っ

いますので、建設中の役場庁舎別館には、太陽光発電システムの設置を進めています。学校や体育館など公施設への設置についても検討します。また、個人住宅での利用促進を図るため、住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱に基づき、補助事業を実施しており、平成23年度は124件の交付決定をし、今後も引き続き普及拡大を推進してまいります。

**問** 政権公約総くずれ、増税と社会保障改悪の野田内閣に国民は失望しているが、町長はどう評価するか。

**町長** TPP協定の事前協議参加等々については、大変に重要な問題であります。しかし内閣に対し、地方公共団体の首長が、町議会という公開性のある議場において、その論評を加えることは差し控えるべきと考えます。今後、政府等に対し、

意見表明や要望の必要な場合には、町村会などを通じて、首長の総意として伝えてまいりたいと存じます。

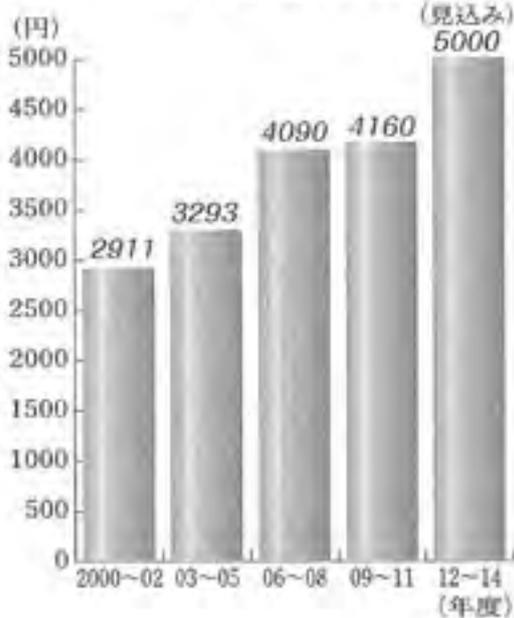
**問** 高齢者は介護、後期高齢者保険料と値上げ続きだ。その上、町は敬老祝金を縮減する。町長の日本一住みよい町はそれで達成できるか。

**町長** 日常生活の負担軽減については、都市計画税の税率引き下げを実施しますので、敬老祝金自体のマイ

**問** 赤ちゃん祝金制度は評価するが1万円は少ない。増額せよ。また、安定的に継続させるため支給条例は必要だ。

**町長** これは少子化対策ということではなく、まず祝うこと、そして育ててこのまちをつくっていくプロセスとしての事業になります。**民生部長** 今回については、事業の交付要綱での制定を予定しています。

介護保険料(65歳以上)の推移



全国平均

## 一般質問

# 被

## 災地に対する支援は十分か

町長 前向きな支援を継続してまいります



議員 落合 誠記

### 具体的な復興支援を

**問** ①24年度予算に、復興事業の反映は。②職員派遣の増派は。③自主防災組織の支援内容は。④被災地ボランティアの支援を。⑤復興イベントを活発に。⑥災害弱者への配慮を。⑦防災協定の再考を。

**総務部長** ①町民生活の安定、経済産業活力の回復、災害に強い地域づくりに取り組みます。②県町村会か

ら再度の正式要請があれば積極的な対応に努めたい。③自治会を単位とし、災害による被害の防止と軽減を図ることを目的とした壬生町自主防災組織補助金交付要綱を制定した。④町民活動支援事業はセンターを設置するための検討委員会に対する予算措置です。団体に対する支援は対象ではありません。⑤壬生ハイウェイパークにて復興支援イベントが幾度か開催されており、来年度以降は被災

地の特産品の販売等に携わっていきたい。⑥災害時にまず指定避難所に避難誘導し、そこへ要援護者専用スペースを設けます。状況により介護施設を備えた福祉施設等にも収容します。必要に応じ民間福祉避難所の開設も検討します。⑦今後関係する自治体等があれば災害協定の締結に向け努力します。

### 地域活性化に期待

**問** ①フレスポおもちゃのまち計画の地域の反応は。②インフラの進捗は。③内需型商圏の後押しを。④税収や雇用の見込みは。⑤地域貢献の期待値は。

**町長** ①地元説明会では、県道への信号設置や歩道の整備等の要望等があまりし

た。②上下水道の老朽管更新工事・新設工事の実施。町道整備では計画地北側に接する町道2の286号線の道路改良を計画しております。③今後、商店街と連携し商業活性化につながるデマンドタクシー運行サークルを考えています。④固定資産税、法人町民税合計で約2千万円の税収が見込まれます。⑤パート、アルバイト等、地元からの大きな雇用創出、地区の活性化や経済効果が期待できます。

### 現状重視の対応を

**問** ①精神障がい施策の数値目標は。②当事者の意見の反映を。

**民生部長** ①県の調査結果の入院患者67人中、社会的入院の12人を今後3年間地域移行への目標人数に見込む。②計画作成時にアンケートを実施。町医師会、各障がい者団体、自立支援協議会の代表者で策定委員会を構成し意見を頂いてまいります。



本町出身の“松葉づえのカメラマン”シギー吉田氏が南三陸町で撮影した『はるかの向日葵』氏の写真展等、復興支援イベントの開催が待たれる。

## 議会活性化の 答申をする

議会運営委員会では、地方分権への流れが大きく変革され、地方議会としての役割が果たされているか注目が向けられている状況において、平成23年3月3日に議長から議会活性化についての諮問を受けました。

そこで、議会の活性化の方策について、精力的に議論を重ね、町民アンケートによる意向把握などを行い、すぐに実施できるものは、スピード感を持って取り組むための決定をし、6月定例議会後には、各常任委員会では、各常任委員会でも調査活動（閉会中の継続審査）を行うこととしました。また、社会参加の意識を高め、議会・行政への関心や理解を深めてもらうために8月4日に子ども議会を開催、議会活動をさらに周知するため、



大島議会運営委員長（右）から細井議長（左）へ答申する。

議会だよりを町ホームページへ掲載してきました。

今後におきましては、提案された議案の審議方法の研究や、さらに開かれた議会を目指し、町民の意見を的確に把握するための方法や、継続して活性化の方策を追求して議論を重ね、取り組むなどのまとめをして、平成24年2月22日に議長へ答申いたしました。

## 各常任委員会の閉会中 における所管事務調査報告

### 総務常任委員会

防災行政無線整備事業及び防災計画作成事業について、所管となる総務課担当職員から説明を受け、事業概要の調査を行いました。防災行政無線整備事業では、

弱者への情報提供体制確立や個別受信機の配置において、法人及び個人での自費設置希望者への考慮を検討事項とされることを要請しました。また、防災計画作成事業においては、むつみの森やドリームキッズの施設を避難場所にする検討や、自主防災組織の立ち

上げ、社会的弱者を守る育成手法や、女性の視点を反映させた計画作成方法、広いエリアでの避難誘導のあり方において、身近で避難しやすくする手法の検討などを要望しました。



**教育民生常任委員会**

小学校の空き教室活用状況、壬生小学校温水プールの活用及び消費者相談センターに関する事項について、所管となる学校教育課、スポーツ振興課及び町民生活課からの説明員の出席を求め、それぞれの事項に対する説明を受け確認等をいたしました。小



中学校では、一時的余裕教室として位置付けられており、平成23年5月現在で小学校合計15教室、中学校合計7教室があり、すが、各学校の特色に応じて少人数指導教室、複式学級対応、コース別学習活用や選択教科等で利用されていることを確認いたしました。また、壬生小学校温水プールは、2階が体育館となる構造で、平成13年度から平成16年度まで6月から9月学校施設開放としての利用があり、また、日差しが入らない

ため補完的に水を温める設備がされているが、通常のプール時期以外に水温を上げるのが難しいことや管理委託費用に對して利用者が少ないことから費用対効果の観点で平成17年度から中止とされましたが、活用できる可能性のあるプールなので、今後の有効活用の検討を要望

いたしました。消費者相談センターについては、町民の消費生活の安定向上のため、専門的知識を有する相談員を配置して、平成24年度から新たに設置するものであるため、概要説明を求め確認をいたしました。



**建設経済常任委員会**

おもちや博物館展示施設等リニューアル工事について、所管となる商工観光課担当職員から実施内容及び目標成果見込み等の説明を受け、執行状況の調査をいたしました。この工事では、博物館の魅力充実させ集客力の向上を目的として、今までの平均入館者数の25%増

なる年間15万人を目標値としています。展示品数では、現在の約3千点を9千点が展示可能とし、遊具・展示物等の充実を図り、小学校高学年の児童でも満足される内容とするものです。保護者が子供達を見守りながら休憩できるスペースも設置され、明るく色鮮やかなイメージに改修されました。現地調査において、多くの来館者があることから、衛生管理面の対応、非常時の誘導等の徹底、オープン時の混雑等の対応及び維持管理費用の節減見込み等について確認・要望をいたしました。



## 表紙写真の説明

### 上稲葉天満宮 太々神楽

2月の第3日曜日、学問の神様と言われる菅原道真公をまつる上稲葉梅林天満宮において、例大祭が行われました。天満宮の特徴は、合格太鼓が鳴り響くこと。合格祈願、学業成就にご利益があるといわれています。参拝に訪れる親子連れなどで、とても賑わいました。

坂田 昇一

## 自治功労特別表彰おめでとうございます。

町議会議員として議会の運営及び地域の振興・発展に貢献した功績が称えられ、平成23年度自治功労特別表彰者として、全国町村議会議長会から細井議長が表彰され、3月2日議場において伝達式が行われました。



市川副議長（左）から伝達される細井議長（右）

## あなたも議会を傍聴してみませんか

次の定例会は

**6月8日(金)**からの予定です。

特に事前申し込みは必要ありません

一般質問をする議員、質問内容や質問順序等は、開催日近くに  
[壬生町ホームページ](#) \ 議会の紹介 \ 傍聴の案内にてご覧になれます。



委員	田村 正敏
副委員長	赤羽根信行
委員	玉田 秀夫
委員	坂田 昇一
委員	小牧 敦子

### 議会広報特別委員会

## 議場コンサート

かんぴょう伝来300年を記念し、  
**壬生町かんぴょう大使**  
**佐藤ひろこさん**による  
 議場コンサートを開催します。

**6月8日(金)**  
 午前9時30分～(20分程度)

## 編集後記

東日本大震災から早1年が経ちましたが、被災地のがれきはまだまだ山のように積まれています。今後も全国の協力、絆が求められています。

全国的に今年の春は遅れているようで、桜の花も蕾のまま眠っているようです。のめさくから祭りも間に合うか心配でした。

新年度は正副議長及び各常任委員会も一新し、議員も町民第一の考えで町政に取り組んでいます。議会だよりも一般質問が一議員あたり1ページになって2回目になり濃い中身になってきました。今後も町民に解りやすい議会だよりを届けていきたいと思っております。皆様のご意見等もお聞かせください。

(赤羽根信行 記)

